



説教

星の光よ、われらを導け

マタイによる福音書 第2章1～11節

権力と権威

「権力」と「権威」、この二つの言葉は似ていますが、その意味するところはまったく異なります。「権力」とは上から押し付ける力のことで...

クリスマス・ストーリーには「星」を欠かすことができません。しかし星に導かれて歩むのと、自分が星になろうというのでは大きな違いがあります。

伊藤 悟

大学宗教部長

特集 神様に招かれるクリスマス

クリスマス「希望」を経験する

川島 祥子 幼稚園教諭

幼稚園では、子どもたちと保護者の方々、そして保育者、職員でともにクリスマス礼拝を守り、イエス様のご降誕を感謝し祝うときをもちます。礼拝に至るまで、子どもたちはクリスマスストーリーを聞き、イエス様のお誕生の喜びを心に積み重ねて日々を過ごします。



幼稚園に入園して初めてクリスマスの意味がわかったというご家庭もあります。クリスマスが単なるイベントではなく、心に、そしてこれからの人生に希望をたらし出す出来事であることを、幼子の心にも感じて欲しいと思っています。

子どもたちが引き出したセリフの言葉、天使たちの賛美の言葉、御子イエス様への礼拝をするための羊飼いたちの力強い足取り、はるばるイエス様を拝みにきた異邦人の学者たち、住民登録が実施されることから始まってすべてが時に重なって起こった出来事であることなど、一つ一つに子どもたちのこころが込められていきます。

ページエントの思い出

いづか ともひろ 初等部2年

はくはきよ年のページエントで子どものやくになりました。子どものやくとは、お生まれになったイエスキさまにおくりものをとどける大切なやくなので、本番をとでも楽しみにしていました。



あこがれの聖歌隊

北山 春菜 初等部3年

わたしは3年生の4月から聖歌隊に入っています。歌うのが大好きなので、とても楽しいです。しよと部にはたくさんのクラブがありますが、その中からなぜ聖歌隊を選んだのかというと、1年生の時に見た、クリスマスさんび礼ひの音学こうどうで歌うすがたにあこがれていたからです。



イエス様へのプレゼント

飯土井 せら 中等部3年

クリスマスが近づくと、なぜかワクワクして楽しい気分になってきます。街にはクリスマスディスプレイが並び、街路樹にはうっとりするようなイルミネーションが輝きました。



また、クリスマス礼拝やページエントも大切な行事として幼い頃からずっと守ってきました。厳かで特別な雰囲気のあるクリスマスも私は大好きです。中等部生最後のクリスマスを迎えて、私の中で少しずつですが、クリスマスに対する考え方に変化が表れてきています。

日本、そして世界中で様々なことが起こっている昨今、毎年変わりなく大切な人たちと過ごし、お祝いできるのは当たり前ではなく、神様からの大きなプレゼントなのだと感じます。クリスマスの日には神様は、救い主イエス様をこの世に贈って下さいました。そして、私たちにいつでも光を照らして下さいます。その光は、温かさや希望、そしてくじけそうになった時にも、大きな力を与えてくれます。

すべての人へのクリスマス

三好 香彩 高等部3年

クリスマスの時期は誰もが自然と、たとえ理由が定かなくても、心がはずんでしまう季節ではないでしょうか。クリスマスは全ての人に喜びを湧かせます。それはイエス様の降誕をお祝いしない人、できない人にとっても同じです。



親の仕事の都合で外に住んでいた私は、インターナショナルスクールに通っており、仲の良い友達の中にイスラエルの女の子がいました。そんな彼女がある年のアドベントの少し前、「私はツリーを飾ったりすることは出来ないけれど、代わりに香彩の家でこれをつけてみてほしい」と言って、ガラスでできた天使のオーナメントをプレゼントしてくれたのです。

クリスマス人口は世界の約30%、日本では1%未満だとはいえますが、クリスマスは毎年こなにも盛大に世界中で祝われ、12月の街は赤と緑と、たくさんの光であふれかえります。これはきっと、宗教が違っても、無宗教であっても、この大きな日に皆何かしらの想いがあるからではないでしょうか。祝福する気持ち、喜び、歓び、憧れ、人それぞれだと思います。

Thank you for Christmas

田中 ひかり 女子短期大学 子ども学科3年

クリスマスといえば、イルミネーションやクリスマスケーキなど、様々なものを思い浮かべることが出来ます。その中に、「記念日」や「プレゼント」を想像される方もいると思います。しかしクリスマスとは、イエスキリストの誕生を記念する日であり、私にとっても、このクリスマスはとても大切な記念日であり誕生日なのです。



私の親はクリスチャンではありませんが、私は教会付属の幼稚園に入り、そこで神様と出会い、信じ、その道を歩むクリスチャンとなりました。その洗礼式を挙げたのがクリスマスだったのです。私は、幼い頃から教会や聖書に親しみ、12月には降誕節の話や劇を聞いたり、家でおいしい料理を家族と囲んで、クリスマスプレゼントを楽しみにして、「クリスマス」を「楽しい日」として祝っていました。しかし成長して聖書を聞いていくうちに、クリスマスの本当の意味を考えるようになりました。そして、イエスキリストが生まれたのは、ただ人に愛されるのではなく、天の神様が私たちに「救いの希望」という名の「クリスマスプレゼント」であるイエスキリストを与えてくださったのだということ、聖書から教えられました。私は、このプレゼントを受けとり、クリスマスの日から新たに「クリスマス」として生まれ変わり、新しい人生を歩み始めました。

目に見えないプレゼント交換

田村 恵実 大学 教育人間科学部4年

私は、プレゼントをもらうだけではなく、すてきなプレゼントを贈ることのできる人になりたいと思っています。そう思えるようになったきっかけは、教育実習でした。



教育実習は困難の連続でしたが、そんな私を励ましてくれたのは、子どもたちでした。私は子どもたちから、まぶしい笑顔と優しくて元気の出る言葉、という贈り物を毎日得ることができました。「でも、贈り物をもらうばかりで、私に何かできることはないの？」そう感じてから、私は目に見えない贈り物をしたいと強く思うようになりました。何よりも子どもたち一人ひとりに愛情を注ごう、と心に留めて教育実習を行いました。私の教育実習は、目に見えないプレゼント交換の日々であったように思えます。私は大学で聖歌隊に所属しています。歌は目には見ませんが、聴く人の心に届きます。私たちは演奏会に来てくださった方を演奏会後お見送りします。その時、涙を流して「よかったよ！」と言ってくくださる方も大勢います。その方々を見ると、「私たちは、歌の贈り物をすることができたし、お客さんからもいただくことができたのだ」と嬉しくなります。クリスマスに、神様は私たちにイエス様という贈り物をしてくださいました。イエス様は今も生きておられ、聖書を通して私たちに語りかけてくださいます。神様の愛を受け、私は毎日希望を持って生きています。しかし様々な経験を通し、それだけで良いのかと考えるようになりました。愛するイエス様を送ってくださった神様に、私はどんなことができるのか。小さいことしかできないかもしれませんが、どんなに小さいプレゼントでも、神様は喜んでくださいます。私は、クリスマスという神様からの大きな愛を多くの人に伝えたいと思います。私のできることから始め、祈りを通して神様に目に見えないプレゼント交換をしていきたいです。喜んで与え人になる。この思いを胸に、クリスマスを迎えたいです。



Special Issue : Christmas, God invite me

高等部より

クリスマス礼拝

12/19 金 高等部PS講堂 説教 陣内 大蔵(東美教会牧師)

クリスマス合同コンサート

12/20土 高等部PS講堂 オルガン部、聖歌隊、ハンドベル部の演奏。

ホワイトキャンパ(高等部伝道キャン)

2015年1/4日-6日 相良 昌彦(宗主任)

女子短大より

クリスマス礼拝

12/10 水 カウチャー記念礼拝堂 説教 奥田 知志(NPO法人 拾穂(旧北九州ホームレス支援機構)理事長)

聖歌隊、ハンドベル・クワイアクリスマス・チャリティー・チャペルコンサート

12/19 金 カウチャー記念礼拝堂 共演 東京21合唱団

(女子短大宗教活動センター)

大学より

クリスマス礼拝

12/16 火 18:30~19:30 青山キャンパス カウチャー記念礼拝堂 説教 平野 克巳(日本基督教団代田教会牧師)

クリスマス礼拝

12/18 木 18:30~19:30 相模原キャンパス ウェスレーチャペル 説教 Kist 岡崎 さゆり(日本基督教団宣教師) 大学生を対象していますが、どなたでも参加できます。

オルガニスト養成講座 受講生発表会

2015年1/17土 15:00~14:30 相模原キャンパス ウェスレーチャペル

クリスマス礼拝

2015年1/24土 14:30~14:30 青山キャンパス カウチャー記念礼拝堂 講座受講の学生によるパイプオルガン演奏発表会です。

オーストラリア・クリスマスファミリーホームステイ・プログラム

2015年2/6金-2/28土 クリスマス家庭に滞在し、現地校で英語研修。日曜日は礼拝出席とキリスト教や異文化の体験もします。また、地元の小中高生とも触れ合いの機会があります。

(宗教センター事務局 平野 修一)

本部より

学院創立140周年記念クリスマス・ツリー点火祭~降誕を待ち望む礼拝

11/28 金 相模原キャンパス16:40~17:50 全学院の礼拝として行います。

学院創立140周年記念 Art クリスマス Aoyama

11/26水 12/17水 キャンパ他 クリスマスをテーマとした絵画展。どなたでもご自由においでください。

教職員新年礼拝

2015年1/10土 14:00~ カウチャー記念礼拝堂

(宗教センター事務局 平野 修一)